



速報展 2021.3.20-6.20

発掘された 鈴鹿2020

磐城山遺跡第13・13-2次調査区全景(南から)

ばんじょうざん

磐城山遺跡(第13・13-2次) 木田町

2019年7月10日～2020年3月24日 農地改良に伴う緊急調査 198㎡

2020年5月21日～2020年6月24日 農地改良に伴う緊急調査 95㎡

市道北側で実施してきた調査もようやく最終段階を迎えます。今回の調査でも弥生時代後期から古墳時代初頭、古墳時代後期の竪穴建物(住居)が非常に密集して見つかりました。竪穴建物には深く掘られた排水溝が北側の谷に向かい伸びるものもあります。また中世の遺構も多く、道路の側溝と見られる石が詰まった溝、石組みを伴った炉と思われる土坑、深さ5mを超える井戸、水溜めと思われる大規模な方形の土坑とそこから谷に向かって直線的に伸びる排水溝などが見つかりました。これらは、遺跡の西に隣接して室町時代に築かれた木田城に関連する遺構だと思われます。



13次調査区全景(東から)



中世の炉跡



中世の溝跡



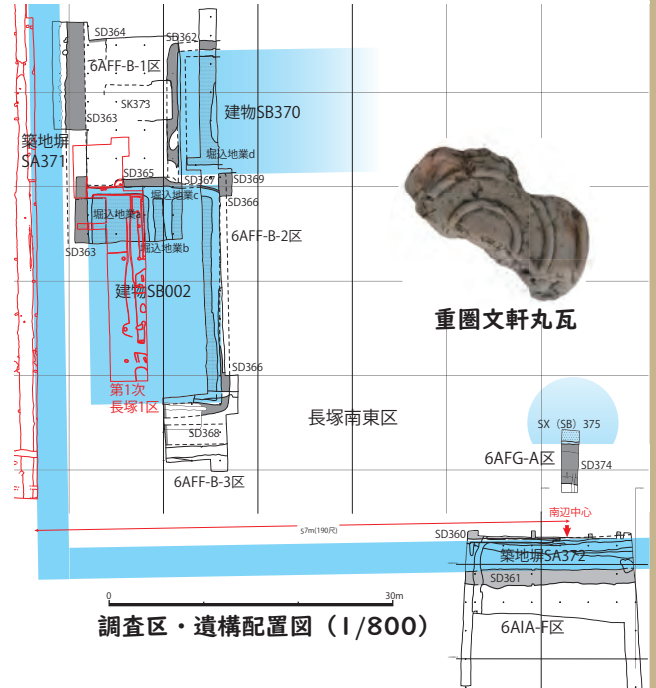
遺構配置図(1/150)

いせこくふあと ちょうじゃやしき
伊勢国府跡（長者屋敷遺跡）（第40次） 広瀬町
 2020年8月31日～2020年11月19日 学術調査 582㎡

第40次調査は方格街区の長塚南東区を調査対象としました。平成4年の第1次調査で建物らしき遺構が確認されている地点です。調査の結果、まず西辺・南辺で3m強の間隔で並行する2条の溝が検出され築地堀で区画されていることが確認できました。しかし、築地の南辺中央に当たる部分では溝が途切れることがなく、長塚南西区では確認されている、正門に当たる門は無かったことも分かりました。築地による区画（院）の内部では、礎石建ち瓦葺建物を3棟確認しました。基壇の地上部は失われ、地下の地盤改良「掘込地業」の跡と外周に掘られた溝により基壇の規模を確認しました。1次調査で確認された建物SB002は東西13m×南北22mの南北棟で、建物SB370はそれに直交する南北11.5mの東西棟の建物です。南面中央の築地内側にも、規模は不明ですがもう1棟の建物があるようです。政庁以外でこれほど瓦葺き建物が建ち並ぶ施設は他の国府には類例がみられず、伊勢国府の特色と言えますが、その役割を示すような遺物に乏しいのが残念です。



6AIA-F区築地基底部（西から）



重圈文軒丸瓦

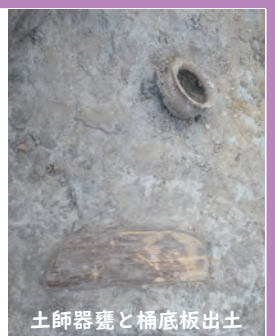
6AFF-B-1区礎石建物SB002基壇（南から）



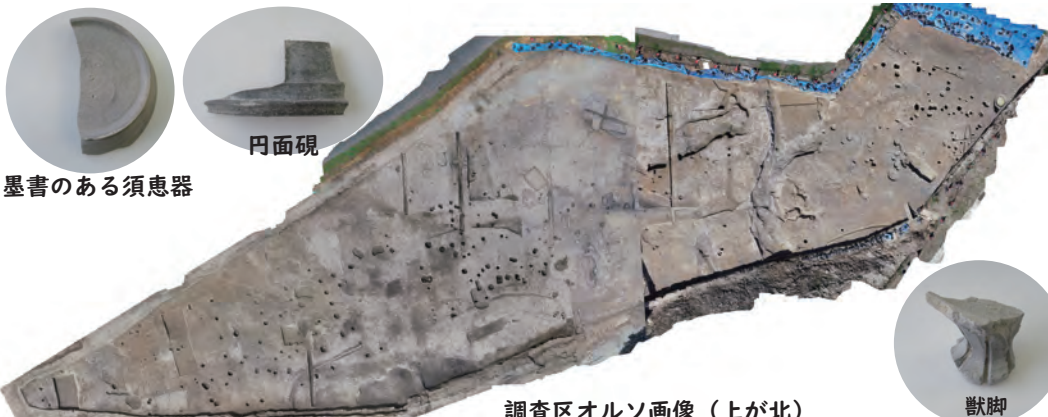
たかい
高井A遺跡（第3次） 御園町

2019年10月2日～2020年5月13日 公共複合施設建設に伴う緊急調査 1,868㎡

中ノ川左岸の丘陵裾の南向き斜面に立地している弥生時代～鎌倉時代の集落遺跡です。調査の結果、丘陵裾から流れ出した多数の溝があり、多くの遺物が出土しました。溝の古いものは弥生時代後期に遡ります。遺構の大部分は飛鳥時代から平安時代のもので、掘立柱建物や土坑が確認されています。土壌の水分が豊富なことから建物の柱穴には柱の材が残存しているものもありました。遺物として獣脚の付いた高級な須恵器壺・円面硯・緑釉陶器などが出土していて、古代には有力者が居住していたと思われます。また、各所から瓦が出土し、「郷堂」という字名が残ることから、付近に古代寺院が存在していた可能性が高いです。さらに、流路から網の錘である土錘が多く出土しました。やや内陸に立地する集落ですが、生業として漁も盛んに行われていたことがうかがえます。



土師器甕と桶底板出土



墨書のある須恵器

円面硯

調査区オルソ画像（上が北）

獣脚

流路（北から）

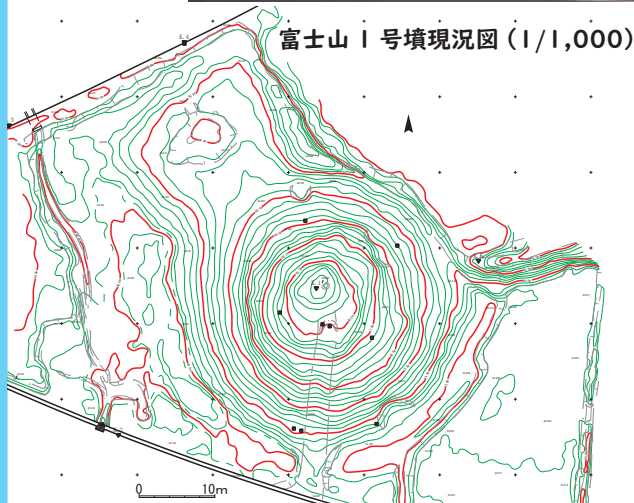
※写真提供 三重県埋蔵文化財センター

ふじやま
富士山Ⅰ号墳 (現況図作成) 国分町
2020年6月24日

市内でも残りの良い前方後円墳です。地元自治会が古墳の活用を目指して鬱蒼と茂っていた竹藪を伐採された機会を活かして古墳の現況図を作成しました。その結果、古墳は全長54m、後円部径36m、全長部長さ18m、後円部高さ6mの規模で、周囲には幅4～5mの周溝が巡ることが分かりました。墳丘には葺石とみられる石が認められますが、埴輪などの遺物は今のところ確認できていません。後円部と前方部が2:1の関係であり、前方部が平低であることから広義の帆立貝式古墳の範疇に入ります。市内では5世紀後半から6世紀初頭に同型式の帆立貝式古墳が築かれていることから、そのころ築かれた古墳と見られます。



古墳全景 (南から)



富士山Ⅰ号墳現況図 (1/1,000)

いのう
稲生城跡 (第1次) 稲生一丁目
2020年12月5日～2021年1月9日
河川改修事業に伴う緊急調査 30㎡

稲生氏の居城と伝えられます。平野に面した段丘端の東西90m×南北150mの高まりが城跡とされています。西側の水田との比高差は4mあり、南側の竹藪には土塁のような高まりが残ります。工事により削平される辺縁部を調査しましたが、後世の削平のため僅かに中世の土器・陶器が出土したのみで遺構は確認できませんでした。



稲生城跡調査地遠景 (西から)

おかだじんじゃ
岡太神社遺跡 (第8次) 岡田一丁目
2020年10月13日 個人住宅建築に伴う緊急調査 7㎡

延喜式内社である岡太神社を中心に広がるまとまりのよい中世の集落遺跡です。今回は、表層改良部分のみの小規模な調査のため、掘立柱建物の柱穴6基を検出したのみです。



調査区

きたぞえ
北ノ添遺跡 (第2次) 北玉垣町
2020年9月2日 宅地造成に伴う緊急調査 10㎡

宅地造成に伴う小規模な調査です。範囲確認調査により方形の柱穴が確認されたため。隣接する道路予定部分を調査しましたが、柱穴は見つからず、近世以降の耕作溝が確認されたのみでした。



調査遺跡位置図 (1/100,000)

国土地理院 1/50,000 地形図「四日市」・「津東部」を加工

関連行事

スライド説明会「伊勢国府跡第40次」

と き 5/23 (日) 13:30～

ところ 考古博物館講堂

発掘調査現地公開「磐城山遺跡第14次」

と き 6/6 (日) 10:00～12:00

13:00～15:00

ところ 磐城山遺跡発掘調査現場 (木田町)

入門講座「遺跡の歩きかた - 久留倍官衙遺跡公園 -」

と き 6/20 (日) 13:30～

ところ 考古博物館講堂

講 師 石毛彩子さん (四日市市教育委員会)

鈴鹿市考古博物館

〒513-0013

鈴鹿市国分町 224 番地

TEL 059-374-1994

FAX 059-374-0986

URL <https://www.city.suzuka.lg.jp/kouko/>

E-mail kokohakubutsukan@city.suzuka.lg.jp



公式マスコットキャラクター 奇跡めこ